身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

総括表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | |  | 年　　月　　日生（　　歳） | 男　女 |
| 住　所 | | | | |
| ①　障害名（部位を明記） | | | | |
| ② | 原因となった　　　　　　　　　　　　　　交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、  疾病・外傷名　　　　　　　　　　　　　　自然災害、疾病、先天性、その他（　　） | | | |
| ③　疾病・外傷発生年月日　　　　年　　月　　日・場　所 | | | | |
| ④　参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。） | | | | |
| 障害固定又は障害確定（推定）　　　　年　　月　　日 | | | | |
| ⑤　総合所見 | | | | |
| 〔将来再認定　　要（軽度化・重度化）・不要〕  〔再認定の時期　　　年　　月〕 | | | | |
| ⑥　その他参考となる合併症状 | | | | |
| 上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。  　　　　　　年　　月　　日  　　　　　　　　　　　病院又は診療所の名称  　　　　　　　　　　　所　 　　在　 　　地  　　　　　　　　　　　診療担当科名　　　　　　科　医師氏名 | | | | |
| 身体障害者福祉法第15条第３項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕  障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に  ・該当する　（　　　　　級相当）  ・該当しない | | | | |
| 注意　１　障害名には現在起こっている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、痺心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄窄等原因となった疾患名を記入してください。  　　　２　肢体不自由のある者の場合は、全ての肢体不自由について記入してください。  　　　３　歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、歯科医師による診断書・意見書（様式第２号　別紙２（その２））を添付してください。  　　　４　障害区分や等級決定のため、愛知県から改めて次ページ以降の部分についてお問合せをする場合があります。 | | | | |

1/3

申請者氏名

医師氏名

呼吸器の機能障害の状況及び所見

|  |
| --- |
| （該当するものを〇で囲むこと。）  １　身体計測  　　　身長　　　㎝　　　　体重　　　　㎏  ２　活動能力の程度  　ア　激しい運動をした時だけ息切れがある。  イ　平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。  ウ　息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。  エ　平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。  オ　息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。  ３　胸部エックス線写真所見（　　　　年　月　日）  ア　胸膜癒着　　　　（無・軽度・中等度・高度）  イ　気 腫腫 化　　　　（無・軽度・中等度・高度）  ウ　線 維 化　　　　（無・軽度・中等度・高度）  エ　不透明肺　　　　（無・軽度・中等度・高度）  オ　胸郭変形　　　　（無・軽度・中等度・高度）  _nt新例規DB愛知県貼'82闕桙ﾝイメージ19.tifカ　心・縦隔の変形　（無・軽度・中等度・高度）  ４　換気機能（　　　　年　　月　　日）  ア　予測肺活量　　　　．　　　　　L　（実測肺活量　　　 ．　　　　 L）  　　　　　　　　└┘　　└┘└┘　　　　　　　　　└┘　　└┘└┘  イ　１　秒　量　　　　．　　　　　L　（実測努力肺活量　　　． 　　　　 L）  　　　　　　　　└┘　　└┘└┘　　　　　　　　　　　└┘　　└┘└┘  ウ　予測肺活量１秒率　　％（＝ イ ア ×100）  　　（アについては、下記の予測式を使用して算出すること。）  　肺活量予測式（L）  　　男性 0.045×身長(cm)－0.023×年齢(歳)－2.258  　　女性 0.032×身長(cm)－0.018×年齢(歳)－1.178  （予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。）  2/3 |

申請者氏名

医師氏名

|  |
| --- |
| ５　動脈血ガス（　　　年　月　日）　　酸素吸入の有無（有　　　ℓ／分・無）  ア　ＣＯ2分圧：　　　　　　・　　Ｔorr  　　　　　　　　└┘└┘└┘　└┘  イ　ＣＯ2分圧：　　　　　　・　　Ｔorr  　　　　　　　　└┘└┘└┘　└┘  ウ　ｐＨ　　　：　　・  　　　　　　　　└┘　└┘└┘  エ　採血より分析までに時間を要した場合　　　　時間　　　　分  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　└┘└┘　　└┘└┘  オ　耳朶朶血を用いた場合：〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕  ６　その他の臨床所見 |

3/3